

## 1 開会

### (事務局)

令和元年度第2回大垣市図書館協議会を開催する。

## 2 あいさつ

### (山本教育長)

大変お忙しい中、第2回大垣市図書館協議会にご出席いただいたことを、厚くお礼申し上げます。前回に引き続き、教育振興基本計画について、ご意見をいただきたい。

この基本計画は令和2年度から11年度までの10年間を見通した計画となっている。10年後は、どうなっているかわからないが、10年後も少子高齢化やグローバル化が、一段と進んでいくと思われる。技術革新により社会の構造や雇用環境も大きく変化していく。

AI（人工知能）は、飛躍的に進化しAIが自分でモノを考えるような時代になると言われている。そんな時代に、大垣市が大切にしてきたことを基にしながら、市民の皆さんのニーズに応えられる図書館づくりをしていきたい。

委員の皆さんのそれぞれの立場でさまざまな観点からご意見をいただきたい。

## 3 報告事項(1) 「図書館要覧について」

### <冒頭に館内見学>

### (委員)

館内案内で見た赤坂の矢橋家の古文書等複製を図書館の資料として保存しているのは、ご当家からの希望か、市からの働きかけか。

墨俣の鎌倉街道沿いにある奥田家にも古文書資料がある。どちらから保存依頼をするのか。

### (事務局)

矢橋家の場合は、市史編纂業務のためこちらから撮影をお願いした。原資料は矢橋家で保存されている。

### (委員)

資料を提供する側から、図書館でデータ化し保存してほしいという依頼はあ

るのか。

**(事務局)**

資料を提供する側から図書館でデータ化してほしいという依頼は、今のところない。

個人蔵の古文書資料については、個人情報もあるので各家には公開の有無を確認している。

**(委員)**

墨俣の奥田家は、後世に資料を残したいという思いがあり、おじいちゃんから聞いた話を手作りの紙芝居にしたりして活動されている。ご当家の意向はわからないが、古文書資料を何らかの形で保存できるとよい。

**(委員)**

文化財は失われたらそれまでである。価値がわかっている人がいる間に相談された方がよい。

**(山本教育長)**

文化振興課が文化財を取り扱っているので、ご当家から相談してもらえればよい。

**(委員)**

3階収蔵庫にある資料は、閲覧できるのか。

**(事務局)**

郷土資料目録から選んで申請してもらえれば閲覧できる。デジタルデータ化しているので、古文書資料を職員用端末で検索することもできる。

**3 報告事項(2) 「令和元年度図書館アンケートについて」**

**(委員)**

自由記述には、なるほどと的を射た回答が多い。次回の協議会に、各委員が感じていることをお聞かせ願いたい。

### 3 報告事項(3) 「大垣市教育振興基本計画の進捗状況について」

#### (委員)

先日行われた策定委員会で、重点分野名の「読書活動推進」について、情報活用や資料の蓄積などもあり、図書館全般を示す言葉の方がよいという意見があった。

事務局から案はあるのか。

#### (事務局)

今後、図書館は、郷土の貴重な資料の保存や情報発信の役割を担うなか、重点項目として図書館サービス、魅力ある資料の充実ということを認識している。

事務局案として、今後10年を鑑み分野名を「読書活動推進」から「図書館活用」へと変更することを提案したい。

#### (委員)

今後10年の変化は大きい。図書館が情報センターの役割を担うことも考えられる。全般的な意味を含めるため分野名を「図書館活用」へ変更することを策定委員会へ提案してよいか。

#### (各委員)

異議なし

### 4 議題 「大垣市教育振興基本計画（読書活動推進分野）の指標と目標値について」

#### (委員)

この数値で毎年、評価委員会の評価を受けることになるので、妥当かどうか。今後の人口減少も補正として加味してある。

#### (委員)

なかなか達成が厳しい数字だと思う。

#### (委員)

厳しいなと思う。

**(委員)**

過去の実績が、平成27年度から30年度にかけて下降している中、令和6年度までに数値を上げていくことになるので、職員の取り組みは大変だと思う。

今回のバックヤードツアーは本好きにはとても楽しいし、外国人に対して母国語の案内があるのは親しみやすい。館内の動線も、親と子がそれぞれ本を探しやすくなっている。このように使いやすければ利用者は増えると思う。

**(委員)**

目標値は減らすわけにはいかないが、達成が厳しい数字だと思う。図書館の魅力をどのように宣伝するのかにかかっている。PRに力を入れたら、達成困難な数字ではないと期待している。

**(委員)**

勇気がある数字である。機能的には優れた図書館なのでPRするとよい。アンケートにあった職員の対応の悪さについては、教育をしっかりとしてほしい。

より身近で、来てよかったと思われる図書館になってほしい。

**(委員)**

図書館は読書活動だけでなく情報活用や学習センターとしての機能もある。分野名は変更して、指標は今のままでよいのか。

**(事務局)**

たしかに目標値について達成が厳しいと思われるが、新たな図書館活用を利用者に提案するためにも決断した。

目標9つのうち、5つが新規であり、その中でも「デジタルライブラリーの閲覧件数」や「生活関連資料の貸出し冊数」など、情報の活用やサービスの充実などを考慮した指標とした。

委員の皆さんの力添えや利用者の声を聴きながら進めていきたい。

**(委員)**

基本目標1は前計画の指標を継続しているが、その他の目標には新規の指標が入っている。このままでいいのではないか。

**(各委員)**

異議なし。

### (委員)

館内を視察したところ、よく工夫されていると思う。しかし、新しい指標に対して新しい試みをして目標の達成に向けて努力してほしい。

基本理念「次代をつくる人づくり」のとおり、どれだけICTが使えても人間性が大事である。ここに図書館の大きな役割がある。

図書館のバックヤード開放や市内の知的財産との連携など、新しい試みをして目標値を達成することを期待する。

アンケートにはいろいろ書いてあるが、職員さんは一生懸命に取り組んでいると思う。ぜひ職員へ伝えてほしい。

## 6 その他

### (事務局)

新聞記事に、市内のベトナムの方々とは協力して、手書きでベトナム語の利用案内を作成したことや、西田委員が校長を務める墨俣小学校と連携してオリジナル読書手帳を作成したことが掲載された。グローバル化への対応や地域の図書館の連携・活性化の取り組みを取り上げてもらった。

また、田村会長から提案のあったフリーペーパー「大垣市咲楽（さくら）」にも図書館行事が掲載された。今後もPRを行っていく。

次回の協議会は、令和2年3月頃に開催予定。

閉会 15:30